

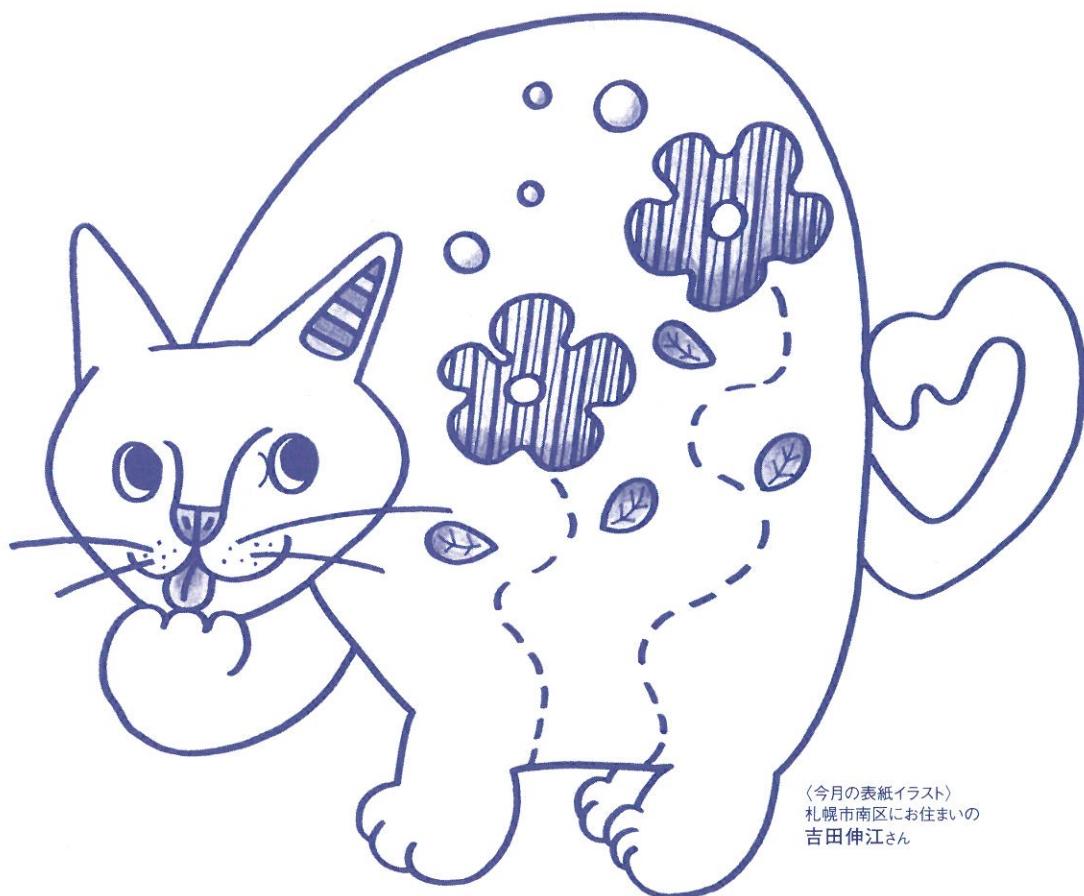
月刊

みんなのボランティア情報誌

ボラナビ

11月号 No.51
2002年10月25日発行

ご自由にお持ちください



〈今月の表紙イラスト〉
札幌市南区にお住まいの
吉田伸江さん

特集 高校生・中学生対象ボランティア体験報告 vol.2

NPOと教員で創る「総合的な学習」についての研究結果報告

ボラナビの集い ● NPO・ボランティア団体の「お悩み」座談会 Part.2

高校生対象 ボランティア体験報告 vol.2

先月に引き続き、ボランティア体験に参加した高校生と、各団体担当者の生の声をお届けする第2弾! この高校生ボランティア体験は、夏休み中の3日間、障がい者や高齢者を対象に活動している4団体に協力いただいて行いました。今回は、手稲区くれよん'ずと在宅生活支援サービス花凧に参加された方々をご紹介します。

※誌面の都合により一部編集しましたので、ご了承下さい。

※この事業は、財団法人たばこ産業弘済会とリーバイ・ストラウス・コミュニティの助成事業として行われました。

高齢者のお相手 在宅生活支援サービスホーム 花凧

●鈴木美保さん(3年生)

花凧には、お年寄り、幼児とお母さん、障がいを持った若い方や町内の方など、いろいろな人が遊びに来ていました。「ここは大きな家族なので家族の一員になったつもりで過ごして下さい」と理事長さんに言われました。1日目は難しかったですが、3日目くらいには親戚くらいにはなったかなと思いました。初めてのことでもドキドキでしたが、ワクワクも経験させてもらいました。花凧のみなさん本当にありがとうございました。

●穴田有希さん(2年生)

ボランティア活動に参加するのは初めてだったので、少し不安でしたが、花凧のみなさんはとても優しくて、いろいろなことを教えてください、楽しく過ごすことができました。3日目にはみんなでカラオケに行きましたが、お年寄りの方は曲をとてもよく覚えていて、しっかりとした声で歌っていて驚きました。この体験を通して介護について少し考えさせられました。思いきって参加してみて、本当に良かったと思います。



イラスト 木村 玲さん

担当者から 木村美和子さん

最初はうまくお話できなかった方、最初から溶け込んだ方、マイペースで楽しんでいた方と行動パターンもいろいろでした。

相手に合わせてのお手伝いということで、高校生のみなさんには難しかったかもしれません、みなさんがいらしてくれたおかげで、花凧はとても華やぎました。ここでボランティアをしてくださったことで、「金子みすゞ」の詩のように「みんなちがつて、みんないい」を感じていただけたらとても嬉しいです。

障がい者・児の支援 手稻区くれよん'す

●山口 瞳さん(2年生)

前からボランティアに興味があったものの、なかなか行動に移すことができませんでした。でも、進路のことを考えると、いろいろな経験をした方がいいと思い、学校にあった様々なボランティア募集の中から、子どもたちとふれあえるくれよん'すに参加しました。

私が担当したのは、ミキちゃんという小柄な可愛らしい女の子で、緊張していた私に、最初に笑顔で声をかけてくれました。その時は本当に嬉しかったです。ミニ遠足や水遊び、カラオケに縁日と内容がとても濃く、あつという間の3日間でした。友だちもたくさんできました。また機会があれば参加したいと思います。

●今村雅恵さん(2年生)

高校に入ってから3回ほどボランティアをしましたが、すべて募金のお手伝いでした。だから、直接人と関わるボランティアは初めてで少し不安でしたが、参加しているうちに不安は消え、いつしか子どもたちと話したり、一緒に遊んでいる自分にびっくりしました。人と話すことが苦手だった私がたくさん話をしました。今回は、人の役に立っただけでなく、自分自身のためにもなったボランティアでした。ボランティアしたのではなく、ボランティアしてもらったという感じです。

●久積由佳さん(2年生)

初めてボランティアを体験しました。最初は不安でいっぱいでしたが、そんな私にお母さん方や生徒さんが優しく声をかけてくれたので、一気に不安がとれました。3日間で1番楽しかったのは、3日の縁日でした。みんなとも仲よくなったり頃だったので、とにかく楽しく、特に、私が話しかけたら子どもが笑顔で「うん」とてうなずいてくれることが嬉しかったです。私も頑張るぞ!という気持ちになりました。私はこの3日間を通していろいろなことを学びました。またボランティアに参加したいと思いました。

●伊勢直実さん(3年生)

初めてボランティアに参加して、はじめは何をしたらいいのかわからなかったけど、段々慣れてきてみんなと一緒に楽しく遊べました。3日間という短い期間でしたが、とてもいい経験が出来ました。

●東 千尋さん(2年生)

ボランティア体験に参加してとても楽しかったし、いろいろ勉強にもなりました。3日間の中で嬉しかったことが4つありました。1つめは、中学1年生のりなちゃんという可愛い友達ができたこと。りなちゃんの他にも、たくさんの子と話をしたりボールで遊んだりしました。2つめは、ミニ遠足で水遊びをしたことで、久しぶりに川に入って、すごく楽しかったです。3つめは、縁日でヨーヨーを欲しがっていた私に、取ってきてくれた子がいたこと。4つめは、りなちゃんが元気良く挨拶してくれたことです。ボランティアというよりも遊びに行っただけのような感覚でしたが、また機会があれば参加したいと思います。



担当者から 根田さゆみさん

初めてのサマースクールということで、星置養護学校を借りて行いましたが、何をどうすればいいのだろうと、初めてのことにはパニック状態の中、緊張しながらも3日間、楽しく終えることができました。内容はどうだろうか、ボランティアさんと子どもたちは仲良くなれるだろうかと心配していましたが、毎日、子どもたちはとても楽しそうな笑顔を見せてくださいました。ボランティアさんも時間がたつにつれ、子どもたちと溶け込んでいくのが分かり、この出会いが、お互いの心に残ってくれればいいなと思います。3日間、たくさんの人たちに支えられて終えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



中学生対象 ボランティア体験報告 vol.2

ボランティア体験に参加した中学生と、各団体担当者からいただいた感想文を3回にわたって掲載する2回目。このボランティア体験は、子育て関連の活動をしている6団体にご協力いただき、夏休み中の5日間で行いました。今回は、ネバーランド児童育成会とNPOアフタースクール運営会に参加された方々をご紹介します。

※誌面の都合により一部編集しましたので、ご了承下さい。

※この事業は、社会福祉・医療事業団（子育て支援基金）の助成金の交付によって行われました。

元気いっぱいの子どもと遊ぶ！ ネバーランド児童育成会

●宮崎 茜さん（2年生）

「自分にできることは何だろう？」。そう疑問を持ったのが、今回ボランティア活動をするきっかけでした。「ボランティア」として3日間活動する中で、様々な気持ちを持つことができました。心の中に強く残っていることが2つあります。

1つめは、1日目に、「自分にできることは何だろう？」と考え、どうしたらいいかわからなくなっていた時のことです。6年生の男の子が、私の気持ちを知ってか知らずか「どんまい」と声をかけてくれました。その一言で私は「できる限りのことをしよう」と気合を入れ直しました。

2つめは、私があやとりを教えていた女の子が、あやとりができる時、その女の子ができる喜びと「私にもできることがあるんだ！」という満足感で気持ちがいっぱいになりました。

ボランティア体験を終えて私は、「自分にできることは何だろう？」と考える前に、自分ができることをひとつひとつ増やしていくと考えるようになりました。だから、これからもボランティア活動をしていきたいと思っています。

担当者から 二木光代さん

ボランティア体験は3日間という短い期間でしたが、宮崎さんは子どもたちとの関り方を施行錯誤しながら、積極的に取り組んでくれました。まず、子どもたちとの関わりですが、1日目にはどのタイミングで声をかけたらよいのか考えている姿が見られましたが、2日目になると高学年だけでなく、低学年の子どもたちとも親しく触れ合う姿が多く見られました。遊びの中で元気のない子をなぐさめたり、危険な様子を見かけると注意したりする姿には、感心させられました。次に指導員との関わりですが、挨拶や話し方はとても礼儀正しく、おやつの後片付けなども率先して行い、指導員の仕事をサポートしてくれました。何よりも子どもたちが最後に名残惜しそうにしていたのが印象的でした。宮崎さんの一生懸命さが通じたのでしょう。「近いのでまた来ます」と言ってくれたことも嬉しく、ぜひまた顔を見せてほしいと思います。

ハンディのある子どもたちと遊ぶ！ NPO法人アフタースクール運営会

●小泉修羅さん（1年生）

僕は小学校の時、バスで学校に通っていました。僕を含めて1年生から6年生の計20人ぐらいで、そのうち2人が障がいを持った子でした。その2人は毎日窓ガラスをバンバンたたいたり、大きな声で叫んだりしていました。そういう訳で、僕の障がいを持った子どもに対するイメージはあまりいいものではありませんでした。

お弁当を作つて公園に行くというプログラムでは、車いすの子が1人と、小2ぐらいの子が2人いて、お弁当作りがスタートしました。作業は楽しく進みましたが、1人だけ何もしない子がいました。実はその子は、みんなで何かをすることが苦手な障がいを持っているのだと後で聞かされました。もし今までもっと考えていたら、バスの2人など、障がいを持った人のことを理解して、もっとふれ合うことができたかもしれない、と思いました。

●櫻田麻結さん（3年生）

ハンディのある子と接してみて最初はとまどいましたが、普通にただ遊んだり話したりするだけでもよかったんですね。一緒にいると楽しいし、他人という気がしないのです。

1日目は、お弁当を作つて真駒内公園に行き、2日目は、足踏みうどん作り。3日目は、1日目と同じお弁当を作り、庭で食べました。4日目は買い物をしてジンギスカンパーティーや少林寺バレーを楽しみました。まどかちゃんというダウン症の子がきました。すごくかわいかったです。最後の日は買い物に行き、お好み焼きを作りました。人と接するのは苦手だけど、5日間とても楽しい時を過ごせました。

●吉田綾乃さん（2年生）

私がハンディのある子と遊んでみようと思ったのは、夏休みの良い思い出や良い体験になると考へたのがきっかけです。最初は不安でしたが、みんなと遊んで楽しかったし、思ったより重症の子がいなくて、普通に過ごせました。これからはいろいろなことに挑戦して、いろんなボランティアを体験したいです。

●大野瑞乃さん（3年生）

初めてハンディのある子たちと遊んで、驚いたことがいくつありました。最初はどんな子たちなのだろうと不安と疑問でいっぱいでしたが、お弁当作りや、公園に行つたりしているうちに不安はなくなりました。まりさん（大山さん）が言ってくれたように、そこら辺にいる子どもと同じように接することができたからです。

驚いたことは、アフタースクールに通っている子がなんでも自分でやっていたことです。包丁が使えたり、卵を割ることができたり。私がこの年齢だった時にはできていたらうかと、考えてしました。



担当者から 大山まりさん

夏休みの5日間、4名の中学生がボランティアに参加してくださいました。なんとなくぎこちなかった初日とはうって変わって2日目からは学校も学年も違う中学生同士が、仲良く打ち合つて楽しいおしゃべりや笑顔がはじけていました。「自分たちもこんなに楽しんでいいのかな?」と、時々そんな声も聞こえてきましたが、一緒に楽しむ！これが私たちの願いです。いつも思いのままに動きまわる小3の女の子が、うどん作りで、テープルの周りに集まつたお姉さんたちのおしゃべりに、憧れの表情でじっと耳を傾けていた姿に心を打たれました。「わたしも早く中学生になりたいなあ…。来年も会いたいなあ…」と。

NPO・ボランティア団体の「お悩み」座談会 Part.2



今回のボラナビの集いは、NPO・ボランティア団体の「お悩み」座談会の2回目。5つの団体の方々に、それぞれのお悩みを語っていただきました。出席団体は、循環(くるくる)ネットワーク北海道、札幌チャレンジド、白老みんなで地域福祉を考える会、どろんこクラブ、YUME YUUKI AND YOUのみなさんです。多くの方に悩みを知ってもらうため、北海道新聞の記者の方にご協力いただいています。

循環(くるくる)ネットワーク北海道

〈出席者：神山さん、岡崎さん〉

1995年5月発足。北海道の優れた自然を保全し、より良い環境を次の世代に引き継ぐため、廃棄物の減量化と資源の有効利用をはかり、循環型社会の形成に向けた幅広い活動を行っています。

★連絡先:011-709-5751

お悩み お金が無いこと、活動のできる人(日中の問合せへの対応、中心になるスタッフ)が少ないとこと。出前講座や学習会などの事業を行なうための費用の工面の方法。→助成金を利用しているが、厳しい制約があるものが多い。

札幌チャレンジド

〈出席者：高橋さん〉

障がいを持つ方や、高齢者のパソコン技術の修得を支援する目的で、2000年5月に設立。2001年4月にNPO法人化しました。会員は400人弱。基礎から応用までのパソコンセミナーを主にしています。「チャレ」という地域通貨を取り扱っています。

★連絡先:011-261-0074

お悩み 同じボランティアが毎回続けて参加することが難しく、講習会の後半がどうしても手薄になってしまうこと。20代から30代の障がい者へのPRが足りないこと。地域通貨「チャレ」の利用をもっと広めたい。

白老みんなで地域福祉を考える会

〈出席者：石見さん〉

白老にあるボランティア団体の情報交換などを目的に2000年より活動しています。スタッフは20名。「ちょいボラ」という広報誌を2ヶ月に1回発行していて、現在vol.14です。2002年9月より、しらおいミニFM「レラ」が開局し、さらに情報公開を行なう予定です。不要のCDを集めていますので、ご協力お願いします。

★連絡先:0144-83-4087

お悩み 資金不足、ボランティアに対しての理解不足(活動できる場所が少ない、地域住民の理解と関心が薄い)です。

どろんこクラブ

〈出席者：金城さん〉

小学生のためのフリースペースどろんこクラブです。去年の4月から始めて2年目です。感覚統合を取り入れた、ダイナミックで楽しい遊びを展開することによって、心身の発達や集団に対する協調性、創造性等の発達を援助します。集団になじめない、団体行動が苦手、発達に遅れがあるなどのお子さんにはマンツーマンで対応しています。

★連絡先:011-737-3352

お悩み お金が問題です。借りている事務所が法人契約でないと貸せないとことで、法人格を取得する計画をしてますが、諸経費がかかります。もうひとつはボランティアの確保。1対1の付き添いが必要な子がいるため、「数」が必要になってきます。常に募集をかけている状況です。

YUME YUUKI AND YOU

〈出席者：タムラカルさん〉

北大の工学部で助手をしています。ネパールの子どもたちに学校を建設し、奨学金によって学習の機会と、夢に向かって努力する勇気を与えることを想い、この会をつくりました。会の名前には、子どもたちを支えるのは私たちとみなさんという思いを込めていました。

★連絡先:011-758-1800

お悩み 学校をつくるために300万円かかります。今まで100万円は知り合いからの信頼で集まっていますが、まだまだ足りません。また、領収書の取扱についても、細かい取り決め(通し番号をつけるなど)が良くわからないことです。

司会(ボラナビ 松本)／ほとんどの悩みは「お金」と「人」の2つにまとめられますが、それぞれの悩みは微妙に違っています。具体例をあげてもらえますか?

くるくる／ボランティアの人が、途中で来なくなると言うのは困りますよね。

どろんこ／当日来ないということもありました。ボランティアだからと言って無責任ではいけないと思います。今は、ボランティアが流行になっているようで、1回来て、それっきりという人が多い。1回きりでは楽しさもわかりませんし、何回か経験することによって、自分に力が付いてくるし、やめられなくなっていくんですよね。

白老／1つの団体だけでなくいろいろな所で活動したらどうでしょう。「1つにこだわらずに」というのが長続きする秘訣なのでは、と思います。

くるくる／それは、ボランティアをする人の側からすると、いいことでしょうね。でも、ボランティアを受け入れる側からすると、対応する事務局の苦労はまた別の問題なんです。事務局体制がしっかりしていないと大変ですね。でも、事務局のために使える助成金はありません。

札チャレ／有償ボランティアはワットたくさん来ますが、無償となると散っていってしまいます。有償のIT講習会の講師を募集すると50人ぐらいきます。講習会が終わると無償になるので、終わったら、いったい何人残るのかなあといつも思います。受講者の中には目の見えない人もいて、特別なフォローが必要になってきます。後でメンテナンスを行なう場合もあるので、ボランティアが減ると大変です。また、講習会のボランティアの学生さんが途中で来れなくなって、最後までいたのは1人だったこともあります。参加者から、「最初はフォローしてくれたから安心して受けられたが、最後の方はわからなかった」と言われました。また、知的障がいを持つ方からも「つかれたー」と言われてしまい、サポート不足を感じました。

司会／助成金についてはいかがでしょうか。助成金をもらえるようになっても、お金が振り込まれるまで立て替えで払わなければならぬことがあります。今日は、札幌大学経営学部助教授の佐藤郁夫さんも参加してくださっていますので、アドバイスをお聞きしたいと思います。

佐藤／助成金については、出す側がNPOに対してどう対応するか考えていかなくてはならないですね。「ユメ～」さんの場合、対象が外国のため、市町村は該当しないので大変でしょうね。YMCAにお願いしてみるという方法もあります。「白老～」さんが、社会福祉協議会から助成金を

もらえたのは、白老という地域だからという事が考えられます。札幌市はなかなか難しいですね。

くるくる／広すぎて、1つ1つの団体に出せないので。区単位でもっとしてくれるといいですね。

佐藤／「越智基金」*も知る人が知る基金です。見ていない、知らないと言う人が多いのも、もったいないと思います。

司会／「越智基金」は自由に使えるので、ありがたいですね。ただ、募集期間が短くて、気づかないうちに締切が過ぎてしまうことが多いようです。これから活動には、情報交換や横のつながりが大事ですね。今日は、札幌通運の方がいらしてますので、ご意見をお聞かせいただけますか。

札通労働組合 佐藤さん／会議室を無料でNPO団体やボランティア団体などに提供していますが、いろいろな人が来てくれる、社員の目に触れる機会も増えています。以前、2階に事務局がある「飛んでけ!車いす」の会に、枯葉剤で障がい者になった子どもが来た時、社員が彼らと会って話をしました。色々な事に協力する事に対して、社員の意識も変わってきています。

司会／企業が慈善活動をすることで、少しづつでも社会全体がNPOやボランティア団体に協力的になっていけば素晴らしいですね。

*NPO推進北海道会議が非営利団体を対象に助成。TEL:011-204-6523

参加者からひとこと

●初めて参加しました。以前は、市民団体は公共事業に反対する団体かと思っていました。自分の周りも、NPOを理解していない人が多いようです。(公務員・男性)

11月のボラナビの集い

札幌大学経営学部助教授 佐藤郁夫さん

「全国のNPO支援施策について」

仙台・奈良・大阪など各地のNPOの支援施策についてのお話です。

日時◎ **11/21(木) 18:30~20:30**

場所◎環境サポートセンター(北区北7条西5丁目千代田ビル1階)
会費◎300円

ボラナビの集い 12月以降の予定

12月

●日時／12月17日(火) 18:30~20:30

●場所／環境サポートセンター



NPOと教員で創る「総合的な学習」についての研究結果報告!!

今年度から小・中学校で、来年度からは高校で始まる総合的な学習で「地域住民(個人やボランティアグループ、NPO、企業など)が協力できることを探る」ため、ボラナビ倶楽部主催で、NPOや現役の学校教員で研究会を発足し、各学校を対象にアンケート調査をおこないました。また、ボラナビ倶楽部(ねっとぽん金)に登録しているNPOやボランティアグループの方々にも、総合的な学習への関心などをアンケートしました。結果の一部をご報告します。※この事業は、日本財団の助成を受けて、おこないました。

参加NPO団体

- 循環(くるくる)ネットワーク北海道
- チエルノブイリへのかけはし
- 特定非営利活動法人 ねおす
- ネットワークCAPさっぽろ
- 北海道技術士センター
- NPO法人 北海道グリーンファンド

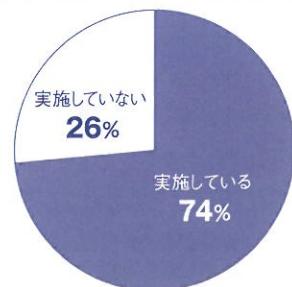
学校向けアンケート結果

- 期間／6月24日～7月5日
- 調査対象／札幌市内近郊及び道内一部地域小中学校、養護学校、高専
- 回収率／27% (378校に配布、102校から回収)

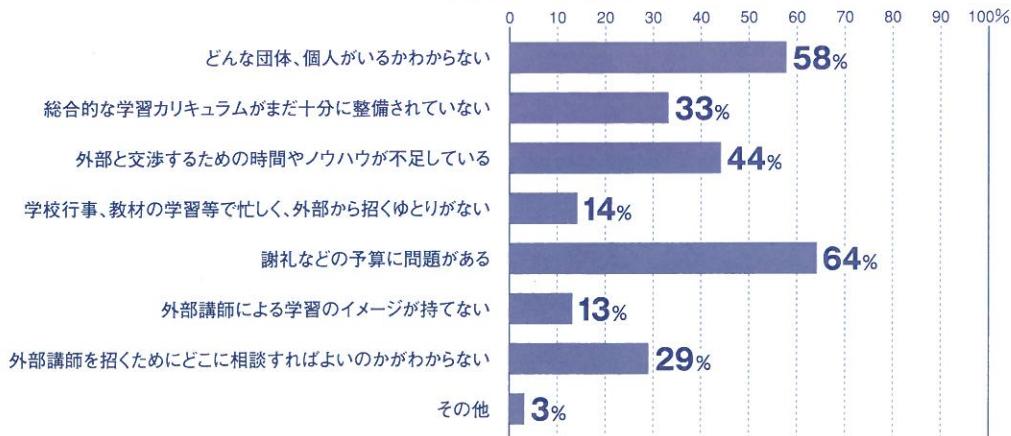
校外から講師を招いて、総合的な学習を「実施している」学校は74%にのぼった。学校別では、小学校における実施割合が高く89%、中学校は69%、高校は33%であった。

校外から講師を招く上での問題点は、「謝礼などの予算」「講師となる個人・団体に関する情報不足」「交渉のための時間やノウハウ不足」が挙げられました。学校側が期待する支援の上位2件は、「人材リスト」(70件)と「実践事例集の作成」(20件)でした。

校外から、講師を招いて総合的な学習を実施した割合



校外から、講師を招くときの問題点

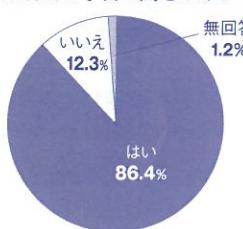


市民活動団体向けアンケート結果

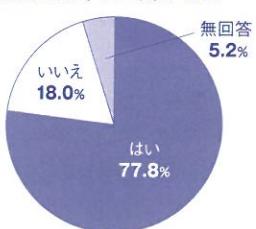
■回収率／66.9%（121団体に配布、81団体から回収）

総合的な学習に関心がある団体は86.4%、関わりたい団体は77.8%。学校などから、講師の受け入れ打診があったのは22.2%、総合的な学習にすぐに対応できると答えた団体は過半数を超えました。

小・中学校で始まった
総合的な学習に関心がある



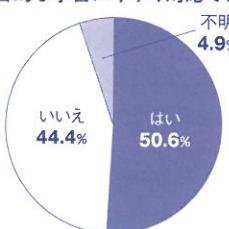
総合的な学習に関わりたい



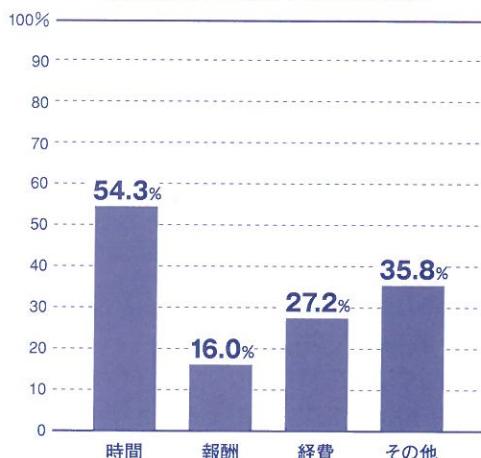
講師の受入打診があった



総合的な学習に今すぐ対応できる



総合的な学習に関与することの問題点



7月号で寄せられたご意見

■「月刊ボラナビ」誌面上で、読者に自由意見を求めました。

小・中・高校生やご家族へ、総合的な学習でどんなことをやっていますか？

- 台湾からきた友人の協力で、「台湾紹介プログラム」をしました。（37歳・母親）
- ワークショップ。（31歳・NPOスタッフ）

地域の方へ、総合的な学習に参加するとすれば、どんなことができますか。又は、したいですか？

- 障がい者との触れ合い体験。例)聴覚障がい者へ手話を使ったり、視覚障がい者と点字でコミュニケーションする。また、ボランティアってどんなことかを知る交流会。（70歳・主婦）

自由にご意見をお書きください。

- 今の教育、教育者、家庭のあり方には問題を感じずにはいられないのと同時に、先行きが大変不安です。（31歳・母親）
- 厚別通小学校では、11月22日に“総合的な学習”をメインにして、実践発表会（8:30受付開始予定 TEL:011-892-7555）を開きますので、一般の方も、是非お越しください。（39歳・教員）

ワークショップのまとめ

研究会に参加した教員からは、「外部講師を呼び込む手続きが大変」「謝礼を出すすべがない」などの意見が出ました。NPO側でも、「知名度のある団体に講師依頼が集中する」「NPOの立場で書かれた総合学習のマニュアル本がない」などの課題が挙げられました。総合的な学習によって、子どもたちが、地域の人々や活動を知るきっかけが多くなりそうな反面、有益な学習にするには、現場の教員と呼ばれる講師側の話し合いなど、さまざまな支援が必要なようです。研究会の最終日には、某区役所職員も参加し、NPOなどと教員が、より互いを知るためのイベントを計画することになりました。地域のさまざまな立場の人が協力して作り上げる小さな成功体験を積み重ねることで、子どもや教員、地域住民がともに面白みを感じられる授業になっていってくれれば、と思います。

情報提供のお願い

ボランティア募集やイベント情報を待ちしています。主旨と内容、日時、場所と交通、連絡先、その他を明記し、郵送・FAXまたはEメールでお送りください(Eメールだとうれしい!)。Eメールの際は添

付ファイルでの送信はご遠慮ください。掲載料は無料です。1月号に掲載を希望される場合は、**11月25日(月)必着**でお送りください。お便りなどもお待ちしています。



ボランティア情報

※ボラナビ事務局では、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細等はそれぞれの団体にお問合せ下さい。

デイサービスのお手伝い募集

みどりの丘デイサービスセンターでは、利用者との会話、手芸・工作のお手伝い、レクリエーションのお手伝い、歩行補助、昼食の配膳、おやつ配り、お茶出しなどのボランティアを募集しています。1日25~28名が利用しています。職員ともども毎日にぎやかに楽しく過ごしております。交通費、昼食は用意します。みどりの丘で過ごしてみませんか。お待ちしています。

●日時／月曜日～金曜日 10:00～15:00

(木曜日以外の都合の良い曜日でかいません)

●場所／みどりの丘デイサービスセンター

札幌市豊平区西岡5条12丁目1-2

●交通機関／地下鉄南北線「澄川駅」から中央バス(澄73)「西岡4条11丁目」下車徒歩3分、地下鉄東豊線「月寒中央駅」から中央バス(月82)「西岡3条11丁目」下車徒歩5分

●お問合せ／TEL:011-581-3004 FAX:011-584-3005〈担当:佐川〉

運営に参加してくれるボランティアスタッフ募集

2001年4月より任意団体で活動してきた「どろんこクラブ」が、NPO法人「子どもサポートどろんこクラブ」として新たな活動を始めます。小学生のフリースクール・学童保育・LDのための学習支援教室で、子どものサポート活動をしてくれるボランティアスタッフと運営・企画・事務局等にご協力頂けるボランティアスタッフを募集します。

●日時／月曜日～金曜日 10:00～17:00の間にご連絡下さい

●場所／どろんこクラブ 札幌市北区北16条西4丁目21

●交通機関／地下鉄南北線「北18条駅」下車徒歩3分

●お問合せ／TEL・FAX:011-737-3352〈担当:金城〉

※あわせて、建物を共同使用してくれる方を募集しています。どろんこクラブは現在1階だけを使っていて、2階が空いています。クラブには発達障がいや知的障がいの子どもたちが多いので、できれば共同作業所等と協力し合って活動できることを希望しています。一戸建なので現在のところ近隣とのトラブルも発生していません。一戸建2階部分(約40坪)・駐車スペース2台分・コピー機印刷機パソコン共同使用可・その他条件は相談に応じます。

息子のボランティア募集

自閉症の息子(中学2年生)の遊び相手を探しています。秋はサイクリング、冬はスキーなどをしています。遊びが乏しくなりがちですので、元気な方や、お兄さんのような学生の方を探しています。詳しくは、一度息子に会ってもらってからと考えています。一人で通学しており、身辺の自立はしています。

●日時／週一回程度

●場所／札幌市中央区南18条西14丁目2-5

●交通機関／市電「ロープウェイ入口」下車徒歩5分

●お問合せ／TEL:011-521-7386 FAX:011-532-6338〈担当:岡本〉

ボランティアスタッフ募集

来年1月18日・19日、全国の青少年が集まり、全国青少年体験活動シンポジウム札幌大会を開催します。青少年を取り巻く問題・住みよい街づくり等を、分科会を通して考えていきます。主に大学生、社会人の方が参加して、昼は分科会、夜は交流会を通して全国に仲間の輪を広げていきます。今年はこの札幌で大会を開催することになり、準備を進めていますが、ボランティアスタッフが不足している状況です。イベント企画に興味のある方、新しい仲間を求めている方はお気軽にご連絡下さい。

●日時／毎週月・木・金 19:30～

●場所／札幌市生涯学習総合センターちえりあ

(さっぽろ青少年連合事務室)札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

●交通機関／地下鉄東西線「宮の沢駅」下車徒歩5分(駅直結)

●お問合せ／さっぽろ青少年連合

〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1番10号

札幌市青少年センター1F

TEL:011-671-4142(平日13:00～17:30)

FAX:011-671-4143

Eメール:rengo@hokkai.or.jp〈担当:志田〉



引越し・旅行・車検は、まず札通にお電話ください!

- 引越し… 見積もり無料。
- 旅 行… JTB、北海道ツアーシステムなどの大手国内外旅行も、同金額、同サービスで取り扱っています。
- 車検と保険も取り扱っています。

お問い合わせ・お申し込みは (担当:佐藤)
札通“はごび愛ネット”推進事務局
札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル2階

(011)251-4120 FAX (011)251-3315
URL <http://www.sattsu.co.jp>



ボランティア情報

ボランティア募集

私たち、託児・託老・学童保育NPO法人「心のかけ橋・虹」では、困ったとき、誰かの手助けが欲しいときにお手伝いをする活動をしています。今回、託児ボランティア(子どもは0歳～4歳まで7名います)、グループホームの昼食つくり(25食)、手芸のお手伝い(牛乳パック、いす、枕、タワシ、袋)を募集します。あなたの空いている時間を貸して下さい。

●日時／月曜日～土曜日 8:30～18:30

●場所／札幌市厚別区上野幌983-22

●交通機関／JR「上野幌駅」下車徒歩8分、ジェイアール北海道バス「新札幌駅」から(32・39・40)「報恩学園前」下車徒歩5分

●お問合せ／NPO法人「心のかけ橋・虹」

TEL:(昼)011-893-6382

(夜)011-373-2043(19:00過ぎ)〈担当:近藤〉

※午前中は、毎日子どもたちと散歩に出かけています。昼食時をねらってご連絡ください。

縄ないの実習とわらぞうり作り指導ボランティア募集

NPO法人「札幌村文化センター」では、子どもたちにわらを使って、ぞうり作りや縄ないの経験の場を提供しています。参加された親子の夢中になって楽しむ姿に、常に驚きや感動を受けています。手工芸の基本であり、稲作文化の伝承を次世代につなぐために、縄ないやぞうり作りの経験をお持ちの方と、実習を受けたい方の参加をお待ちしています。詳細はお問合せください。

●お問合せ／NPO法人「札幌村文化センター」

TEL・FAX:011-782-1130(担当:どい)

TEL・FAX:011-852-3634(担当:みつはし)

「古着」の欲しい作業所募集

リサイクルショップ「るうぶ」では、不要になった古着を提供しています。お店に取りに来てくれる、「古着」の欲しい作業所で、詳しいことが知りたい方は、ご連絡ください。

●場所／札幌市北区北23条西5丁目フロービル2階

●交通機関／地下鉄南北線「北24条駅」下車徒歩5分(札幌サンプラザ向かい)

●営業時間／火曜日～土曜日 11:00～18:00

●お問合せ／リサイクルショップ「るうぶ」

TEL:011-758-4510(担当:板谷)

手工芸・籐細工などのボランティア募集

介護老人保健施設「グーネ北の沢」では、リハビリテーションの一環として、毎日さまざまな趣味活動を行っています。利用者と共に楽しみながら活動のお手伝いをしてくださる、ご来所の際に負担の少ない方を募集しています。詳細・ご不明な点はお気軽にお問合せください。

●活動内容／①手工芸 ②籐細工 ③陶芸(利用者の作業の手助け、準備や後方付け等)

●日時／①毎週月～土曜日 ②毎週木曜日 ③毎週火曜日 各13:00～14:30

●場所／札幌市南区北の沢1804-52

●交通機関／地下鉄南北線「真駒内駅」から市営バス(南97)「北の沢会館前」下車徒歩2分

●お問合せ／介護老人保健施設「グーネ北の沢」

TEL:011-572-2002 FAX:011-572-2008(担当:斎藤・後藤)

サポートスタッフ募集

“子どもたちが主人公(学びの主体者)”を掲げる北海道自由が丘学園は、放課後・ワーキングエンド型の学習支援と共に成長する場を、月寒センターで開設します。小学生から大人までみんなで学び、つくりあげていく場です。内容は、①学習向上(「詩は楽しいよ」国語教室・「発見と納得」算数教室・「数学、国語」学び直し教室)②表現芸術(演劇・美術・俳句)③囲碁・将棋・物作りです。これらの企画・運営・子どもたちと交流するサポートを募集します。条件により役割や時間などを調整しますので、お気軽にご相談ください。

●日時／月曜日～土曜日 9:30～19:00の間、都合の良い日時

●場所／札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 自由が丘月寒センター

●交通機関／地下鉄東豊線「福住駅」下車(4番出口)徒歩8分

●お問合せ／TEL:011-858-1711 FAX:011-858-1333(担当:吉野・鈴木・澤口)

ボランティア編集員大募集!

編集工房NODEでは、北海道のNPO総合情報誌「えぬびおん」のボランティア編集員を募集しています。一緒にNPOを学ぼう! 作ろう!

●お申込み・お問合せ／編集工房NODE うさびょんさいとうまで

携帯電話:090-3898-4696 FAX:011-853-7298

Eメール:usap@mb6.seikyou.ne.jp

NEWSfull
NEWSPAPER + LIFE
情報がすぐそばにある日常。

情報と暮らす、道新と暮らす。

新・道新。

新聞が変わり、娘が変わり、
私は少しだけ照れくさくなる。

48歳会社員 男

おかげさまで創刊60周年。

北海道新聞社



ボランティア情報

施設や作業所でのボランティア募集

社会福祉法人草の実会では、知的にハンディのある方々が、作業や様々な活動を行っています。利用者さんと一緒に作業や、散歩、フィンガーペインティングをしてくれる方、木工作業や手芸の下準備・仕上げをしてくれる方、土曜日の合唱サークルを手伝ってくれる方等を募集しています。活動場所はいくつかに分かれていますので詳細は担当職員にお問合せください。また、興味のある方は、お気軽にお電話ください。

●場所・内容・交通機関／

- ①草の実平岸の里 札幌市豊平区平岸4条17丁目6-6
利用者さんと一緒に作業、散歩、フィンガーペインティングでのお手伝い、手芸(あじろ織り)の仕上げ、木工作業の下準備・仕上げ
地下鉄南北線「南平岸」下車徒歩10分
 - ②リトルローズ 札幌市中央区南14条西12丁目2-22
作業のお手伝い、話し相手、手芸品の仕上げ(袋物、バッグ、クッションなど)、お菓子作り
市電「西線14条」下車徒歩5分
 - ③工房もく 札幌市中央区盤渓216-1
木工作業、畑作業、手芸作業のお手伝い、話し相手
地下鉄東西線「円山公園駅」から盤渓バス「盤渓スキー場」下車徒歩15分
 - ④合唱サークル 場所は平岸の里か中央区民センターなど
第1か第3土曜日に利用者さんと一緒に唄を楽しむ、ピアノの伴奏など
- お問合せ／社会福祉法人草の実会「草の実平岸の里」
TEL:011-817-9080〈担当:ボランティア係 山本・佐藤教・中村〉
FAX:011-817-9899
Eメール:kusanomi@bb.wakwak.com

治療のお手伝いてくれる人募集

自閉症と診断された3歳の男の子の治療をお手伝いしてくれる方を募集しています。お手伝いが必要なのは「ドーマン法」と呼ばれる治療プログラムのひとつで、大人3人で行なう部分です。方法は、大人3人が子どもの手足を動かすというもので、座って行ないます。1回5分のプログラムでそれを1日8回行ないます。15分間隔で、2時間半から3時間くらいの時間が必要です。月に3~4回来てくれる人、ご連絡をお待ちしています。

- 日時／毎日
- 場所／札幌市北区篠路
- 名前／永田(個人宅)
- お問合せ／TEL:011-770-2337 Eメール:wi-wi@mzk.mesh.ne.jp

小規模作業所でのボランティア募集

病気や事故で脳に損傷を受けた「高次脳機能障がい者(メンバー)」の生活自立と社会復帰を支援するための小規模作業所「Re~らぶ(リーラブ)」では、ボランティアを募集しています。メンバーの障がいは、一度会っただけではわかりません。脳に受けた衝撃の度合いや損傷の内容・箇所によって、症状の出方や有様が多種多様で個々に異なります。メンバー(利用者)の話し相手になったり、パソコンを指導してくださる方、活動の支援者としてお手伝いしてくださる方、また、メンバーに趣味を教えてくださる方も歓迎しています。月曜日から金曜日までの10時~15時30分で、都合のよろしい時間でかまいません。年齢・経験は問いませんのでよろしくお願ひいたします。

●日時／月曜日～金曜日 10:00～15:30(都合の良い時間)

●場所／小規模作業所「Re~らぶ」

札幌市白石区本郷通り10丁目北1-6 2階(長栄市場隣)

●交通機関／地下鉄東西線「南郷7丁目」(3番出口)徒歩12分、または「南郷13丁目」(1番出口)徒歩15分、ジェイアール北海道バス(15・17)「市営住宅前」下車徒歩10分、中央バス(72)「本郷通10丁目」下車徒歩1分(白34)「白石本通10丁目」下車徒歩10分

●作業内容／石けん作り・寒麴作り・トールペイント・木彫り・パソコン操作

●お問合せ／TEL・FAX:011-868-7844(担当:鈴木)

パソコン運搬・整備ボランティア募集

「情報弱者にパソコンを!」との合言葉のもと、2000年7月に設立したボランティア団体「i-day(アイデイ)プロジェクト」では、企業や地方公共団体、学校で不要となったパソコンやその周辺機器を回収・整備し、障がいをお持ちの方や高齢者、また、設立間もないボランティア団体などに提供しています。現在、パソコンの運搬及び整備をお手伝いしてくれるボランティアさんを募集しております。作業は、日ごろパソコンを使っている方であれば誰でもできる内容です(UNIXの知識がある方大歓迎)。活動は主に、空知郡北村の廃校となった小学校で行っています。廃棄寸前のパソコンをあなたの手によって「復活」させてみませんか? みなさまのご参加を心からお待ちしております。

●会費／無料

●場所／空知郡北村字豊正778番地 旧豊正小学校内

●交通機関／岩見沢バスターミナルから中央バス月形駅前行「豊正公民館」下車徒歩3分

●お問合せ／i-dayプロジェクト(担当:神生(かみお))

TEL:090-2877-9890 FAX:0126-22-1987 Eメール:i-day@kamio.jp

NPOバンクサポーター募集中!

ほつとニュース

NPOバンク(北海道NPOバンク/NPOバンク事業組合)は、NPO推進北海道会議などが中心になって自主・自律の北海道を目指して設立されました。NPOなどの市民活動団体に事業活動資金を融資する金融システムの総称です。現在、融資原資となる資金を出資してくださるサポーターを募集しています。サポーターになるには、年齢20歳以上、一口1万円以上などの条件や、出資金には元本の保証がないなどの特徴があります。

資金の管理運用は専門家が細心の注意を払って行います。是非、あなたもサポーターになって、市民活動を応援しませんか?

●NPOバンク事務局

札幌市中央区南2条西10丁目 クワガタビル2F

(北海道NPOサポートセンター内)

TEL:011-204-6523 FAX:011-261-6524

URL:<http://www.npo-hokkaido.org/>



イベント情報

*ボラナビ事務局では、掲載されている団体の全てを把握しているわけではありません。詳細等はそれぞれの団体にお問合せ下さい。

「これって迷ボラ(迷惑ボランティア)??」

11/17

ガールスカウト日本連盟北海道支部は、「これって迷ボラ(迷惑ボランティア)??」をテーマに、ガールスカウトアダルトセミナーを開催します。私たちは、自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として考え・行動できる少女と若い女性を育成することを目的として活動しています。今年度は、有珠山噴火の被災者であり、仮設住宅での生活も経験された、胆振支庁管内ボランティア連絡協議会会長・三浦敦子さんをお招きし、災害時のボランティアの話題を中心にお話して頂き、様々な角度からボランティアについて考えることができるセミナーを企画しています。また、小さなお子さまがいらっしゃる方も気軽に参加できるよう、キッズルームも用意しています。ベビーシッターは、幼稚園教諭やベビーシッター資格保有者が担当します。ぜひ、お誘い合わせの上、お越しください。多くの方々の参加をお待ちしています。

●日時／11月17日(日) 10:00~12:00(受付9:45)

●場所／中村屋旅館

札幌市中央区北3条西7丁目 TEL:011-241-2111

●交通機関／JR・地下鉄南北線・東西線・東豊線「札幌駅・大通駅」下車徒歩10分

●講師／三浦敦子氏(胆振支庁管内ボランティア連絡協議会会長)

●参加対象／参加を希望する一般の方、またはガールスカウトに興味のある方

●参加費／無料

●お申し込み／当日の参加でも可ですが、できれば事前にお電話をお願いします。キッズルームを利用される場合は事前にご連絡をお願いします。

●お問合せ／(社)ガールスカウト日本連盟北海道支部 事務局(10:00~17:00)
札幌市中央区北2条西7丁目かでる2・7 9F

TEL:011-221-4811 FAX:011-221-4815

「親業」から学ぶコミュニケーション

11/12

私たち「親業(おやぎょう)ほっと」は、親業訓練インストラクターのグループです。親業訓練とは、アメリカの臨床心理学者トマス・ゴードン博士が始めた、主として親と子の人間関係を基本にしたコミュニケーションの基礎的訓練をいいます。講演会では、日常生活の様々な場面で、相手と心を通わせ、よりよい人間関係を築く具体的な方法を、小さな劇をしながら紹介します。この機会にご自身のコミュニケーション技術を磨いてみませんか。多くの方のご参加をお待ちしています。

●テーマ／いま・ここで 心を伝えるために

●日時／11月12日(火) 10:30~12:00(受付10時より)

●場所／北広島市芸術文化ホール 活動室2 北広島市中央6-2-1
TEL:011-372-7667

●交通機関／JR「北広島駅」下車徒歩5分

●参加費／1,000円

※どなたでも参加いただけます。直接会場へいらしてください。

●お問合せ／親業ほっと TEL:011-375-2751(担当:藤田)

地球環境を考えるフォーラム

11/2

ヨハネスブルグで行われた「持続可能な開発に関する世界首脳会議(環境開発サミット)」に参加された方の報告を聞き、今後、北海道が果たす役割、課題等の検証を行なうことを目的に、地球環境フォーラムを開催します。世界の現状を理解し、課題を身近な視点で捉える機会となるように、参加者を募集しています。

●日時／11月2日(土) 18:30~20:30

●場所／かでる2・7 520号会議室

札幌市中央区北2条西7丁目

TEL:011-231-4111(内線36-108)

●交通機関／JR・地下鉄「札幌駅」下車徒歩10分

●参加費／500円

●進行役／藤田郁夫(環境カウンセラー)

●講師／世古一穂(NPO法人NPO研修・情報センター代表理事)

和田嘉彦(札幌大学経済学部助教授)

東 龍夫(環境カウンセラー)

●お問合せ／北海道環境サミット準備委員会

札幌市手稻区富丘6条7丁目6-28

TEL・FAX:011-684-7651(担当:新保)

Eメール:rose-q@nifty.com

もしくは、環境サポートセンター

TEL:011-707-9025 FAX:011-707-7772

さっぽろワンデイワークショップ

11/2

身近な環境問題から、地球規模の環境破壊・戦争など、今の地球がおかれている現状をしっかりと見つめ、私たちに何ができるのか、美しい地球を子どもたちに残すにはどうしたらいいか、本当に幸せな生き方とは何かを皆さんと一緒に考える8時間3部構成の講演会を開催します。NGOとして参加したヨハネスブルグサミットでの成果もお伝えします。講師はネットワーク「地球村」代表高木善之です。

●テーマ／「美しい地球を子どもたちに」

第一部「地球は今」 第二部「平和な世界を子どもたちに」

第三部「幸せな生き方の発見」

●日時／11月2日(土) 10:00~18:00(休憩あり)

●場所／かでる2・7 かでるホール 札幌市中央区北2条西7丁目

●交通機関／JR・地下鉄「札幌駅」下車徒歩10分

●対象／どなたでもご参加ください

●定員／521名

●参加費／前売 3,500円(ペア券 6,000円) 当日 4,000円

●チケット取扱場所／大丸プレイガイド・4プラプレイガイド

●お申込み方法／郵便振替 住所・氏名・電話番号・枚数を明記の上 02720-2-8516 さっぽろ「地球村」までお振込みください。
入金確認後、チケットを郵送します。

●お問合せ／さっぽろ「地球村」

TEL:011-722-7039 FAX:011-722-7037

Eメール:sapporo-chikyumura@nifty.com



イベント情報

チャリティーコンサートとパーティー

12/9

「多野詩未(たのしみ)のタベ ～いつもと違うときを～」と題し、東京で老人福祉施設を中心に活動している音楽グループ“ドルチェ”的協力を得て、チャリティーコンサートを開催します。その後のパーティーでは、高齢者の方々とヘルパーで結成したハンドベルグループの演奏などを聴いて楽しみ、料理を楽しみ、ゲームなどで楽しみ…と盛りだくさんの内容で行います。介護を受けている方とそのご家族はもちろん、「介護」ということにまったく関わりの無い方にも楽しんでいただき、「介護」を少しでも知っていたら機会になればと思います。1人1人が主役になって参加できる、そんな時間にしましょう。ぜひ、ご参加下さい。

●日時／12月9日(月)

コンサート 16:30開場 17:00開演 パーティー 18:00開始

●会費／コンサートのみ1,000円 パーティー付4,000円

●場所／札幌ロイヤルホテル 札幌市中央区南7条東1丁目

●交通機関／地下鉄東豊線「豊水すすきの駅」下車徒歩2分

●お問合せ／在宅介護を支える会実行委員会（担当：村下・山内）

TEL:011-532-5309 Eメール:kea-niji@palette.plala.or.jp

ストリートチルドレン支援チャリティーライブ

11/9

ストリートチルドレンと呼ばれる、路上で働き生活する子どもたちは、現在世界で3000万～1億人いるといわれています。彼らは家族や社会から適切に保護されることなく、社会のゴミのような存在と見なされて生きていますが、人間としての尊厳を持ち、未来へ希望をもって生きていきたいと望んでいます。同じ地球に住む仲間として関心を向け、考えていきましょう。今回開催するイベントは基本的には音楽ライブですが、パネル展示やストリートチルドレンを支援しているさまざまな非営利民間団体を紹介する資料を配布します。イベントの収益は、ベトナム子どもの家、国境なき医師団に寄付します。

●テーマ／見つめよういま 始めようここから

●日時／11月9日(土) 開場12:30 開演13:00

●場所／北海道クリスチャンセンター(札幌市北区北7条西6丁目) TEL:011-736-3388

●交通機関／JR・地下鉄「札幌駅」下車徒歩10分

●入場料／800円 小学生以下500円

●出演／表現集団、Fat bug、松浦成治

●主催／NPO法人札幌VO・チャリティーライブ実行委員会

●お問合せ／TEL・FAX:011-821-6063（担当：足立）

事務局日誌 9月

3日(火) 北海道生涯学習審議会専門委員会に森田が出席。生涯学習社会の実現に向けて、今後も他の委員の方と話し合っていくことに。

5日(木) ボラナビの活動が朝日新聞の夕刊に掲載される。
7-8日(土・日) 市民セクター全国会議2002(東京)に参加。各地から、NPO経験3年以上の方など400人が集まった。この全国会議、来年はなんと、北海道で開催します。

9日(月) 情報発信をしている神奈川の「NPOアリスセンター」や、専門性のある個人に学校で

授業をしてもらう活動をしている東京の団体「きてきて先生プロジェクト」などを視察。

11日(水) 経済産業省から市民ベンチャー事業の助成について採択通知がきた! ボラナビのHPで、北海道のおいしいものを販売し、売上から市民団体に寄付していく仕組みをつくることになった。

18日(水) 夕張市教育委員会の講演会でボラナビの活動を話した。

19日(木) 北海道新聞社協力のボラナビの集い、お悩み座談会2を開催。参加者に、村上手づくりのキャ

ラメル風味バウンドケーキをふるまつた。

20日(金) FMアップルに松本が生出演。人生2度目のラジオ出演に緊張した。

24日(火) 地域の教育力活性化などを目指す北海道教育委員会の会議に参加。

25日(水) ボラナビ新スタッフの面接。10月から来ていただけることに。

28日(土) 「NPOと教員で創る総合的な学習」のワークショップを開催。アンケートの分析や意見交換が活発に行われた。

定期購読のご案内

各号1部(6ヶ月間) 1,500円

複数部数を希望される場合は、ボラナビ俱楽部までお問い合わせください。

●お申し込み方法

お名前、ご住所、FAX番号(または電話番号かEメールアドレス)をボラナビ俱楽部にお知らせください。

※この金額は印刷、郵送費には足りていません。定期購読のお申し込みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、協賛をご検討くださいますようお願いいたします。協賛については裏面をご覧ください。

★総合学習に活用してください。

公・私立に関わらず小・中・高校に「月刊ボラナビ」を20部まで、半年間、無料でお届けします! 配送費用の関係上、先着30校までです。お早めにお申込み下さい。

表紙イラストの募集について

「ボラナビ」の表紙は、読者の皆様から寄せられる「人の心を明るく、温かく、元気にするイラスト」を紹介しています。ボラナビの表紙とホームページを自分の作品で飾ってみたい!という方は、イラストをハガキまたはA4判以内の紙に描いてお送り下さい。絵の題材、手法は自由。線画でもかまいません。絵に込めたメッセージも添えてお送り下さい。なお、作品の権利(版権)は作者に属しますが、取り扱いはボラナビ俱楽部に一任させていただきます。また、応募が多数に上った場合は、ご紹介できない場合もありますので、ご容赦下さい。

●お問合せ・お送り先は

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2 札通ビル3F

TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

Eメール volunavi@npohokkaido.jp



編集後記

ボラナビを札幌以外でも見るようになった。近郊に住んでいる私には、嬉しいことだ。札幌以外の皆さんも、もっとボラナビを活用しよう!(赤川直)

ボラナビの配布先 ボラナビは毎月25日に発行し、各所で無料配布しています。

■札幌市 ●中央区／札幌医科大学／札幌学院大学アクティビティセンター／コープさっぽろ(植物園店・中島公園店・南円山店)／札幌東急ストア(行啓通店・西線6条店・プロム山鼻店・円山店・宮の森店)／スーパーJOY本部／西友旭ヶ丘店／ディーベルすすきの南7条店／フレッティ(札幌店・16条店)／ラルズプラザ札幌店／ラルズマート(啓明店・山鼻店)／ビウォックセンター／(株)文教堂メディア館宮の森店／紀伊国屋書店(本店・サンボロファクトリー店)／SY遊樂／札幌劇場／シターキノ／松竹／東映劇場／東宝公演／青い空流れの雲／おやおー丁札幌本店／カフェダイヤ／可否茶館(大通店・ガーデン俱楽部店・時計台店・MARUYAMA店)／車や／ごまそば鶴喜(大通り店・北1条店)／サッポロ珈琲館桑園駅前店／サンローゼ／青楓舎／天銀／ほほく庵／札幌信用金庫(本店・桑園支店)苗穂支店・円山支店・山鼻中央支店)／北海道銀行(本店・旭ヶ丘支店・行啓通支店・札幌駅前支店・薄野支店・創成支店・中央支店・中央市場支店・鳥居前支店・道庁支店・西線支店・南1条支店・石山通出張所)／北海道労働金庫(本店・道庁支店)／朝日カルチャーセンター／NTTドコモ北海道／オラバストーツ／札幌大通オンラインズクラブ／札幌日産自動車(本社・宮の森店)／サラ・ストラ／JR(桑園駅・苗穂駅)／SWITCH HAIR／株タカラ／TSUTAYA宮の森店／道新文化センター／二期会歯科クリニック／(株)日産サティオ札幌(特販部・藻岩営業所)／日本損害保険協会／VIRGIN MEGA STORE／望天觀氣質商店ぐるぐる／ラボ美容室／札幌国際プラザ／札幌市役所広報課／札幌市障害福祉課計画係／札幌市社会福祉協議会／札幌市児童福祉総合センター／市民活動プラザ／社会福祉総合センター／女性センター／青少年センター／総務局都市經營室／中央区社会福祉協議会／中央区民センター／中央区役所／中央図書館／道厅生活推進課／北海道社会福祉講会／北海道郵政局内郵便局／円山勤労青少年ホーム ●北区／大原医療福祉専門学校／札幌創成高校／美專学園／藤女子大学／北海道医療専門学校／北海道芸術デザイン専門学校／北海道大学／北大学生ボランティア活動相談室／武藏女子短期大学／コープさっぽろ(あいの里店・北12条店・植物店・新川店)／新川3条店・新琴似店・新琴似南店・屯田店・ひまわり店)／札幌東急ストア(あいの里店・麻上店)／札幌フードセンター(北店・篠路店)／スーパーJOY新川店／ティナーベル(新道西店・北大前店)／ビッグハウス平太店／フレッティ(麻生店・新琴似店)／北雄ラッキー(篠路店・新琴似1店・新琴似2号店・新琴似4番通店)／ホクレンショップ(篠路店・新琴似店・屯田店)／マックスバリュ本店／(株)文教堂新琴似店／カフェキースト／可否茶館あいの里店／シオンハウス／モスバーガー新琴似店／札幌信用金庫(新琴似支店・桜北支店)／北海道銀行(麻生支店・北二十四条支店・札幌駅北口支店・新川支店・新川中央支店・篠路支店・住宅ローンプラザ・四番通出張所)／北海道労働金庫(札幌麻生支店・札幌北支店)／札幌日産自動車(篠路店)／(株)日産サティオ篠路営業所／JRあいの里教育大駅／森園自動車学校／北電札幌北営業所／北海道環境サポートセンター／ライラックバセオ／麻生総合センター／北区社会福祉協議会／北区民センター／北区役所／新琴似図書館 ●南区／札幌市立高等専門学校／北海道東海大学／北海道文教短期大学／コープさっぽろ(ソシア店・西岡店・藤野店)／札幌東急ストア(自衛隊駅前店・藤野店・真駒内店)／札幌フードセンター(滝川店)／北雄ラッキー(川沿店・藤野店・真駒内店)／ホクレンショップ中の沢店／ボスフル(藻岩店)／ラルズマート(石山店・真駒内店)／(株)文教堂川沿店／可否茶館自衛隊駅前店／ごまそば鶴喜藤野店／札幌信用金庫(川沿支店・川沿定山渓出張所・澄川支店)／北海道銀行(川沿支店・澄川支店・ふじの店・真駒内店)／札幌日産自動車(藻岩支店)／北電札幌南営業所／澄川図書館／藤野地区センター／南区社会福祉協議会／南区民センター／南区役所／藻岩地区センター ●東区／大谷短期大学／札幌福祉専門学校／吉田学園／イオン札幌ショッピングセンター元町店／コープさっぽろ(新道店・幌北店・元町店)／札幌東急ストア(北栄店)／札幌フードセンター(カステム店・新道東店・元町店)／スーパーJOY(ラルズマート苗穂店・モエレ店)／ビッグハウス(光星店・苗穂店)／フレッティ(北35条店・元町店)／北雄ラッキー(北30条店・北49条店・苗穂店)／ホクレンショップ(東苗穂店・49条店)／ボスフル東苗穂店／マックスバリュ元町店／ラルズ伏古店／(株)文教堂新道店／可否茶館本店／ごまそば鶴喜北38条店／バーリッシュ／札幌信用金庫(光星店・栄町支店・美香保支店・元町支店・光星出張所)／さっぽろ村コミュニティ工房／札幌日産自動車(北支店・東苗穂支店・北光支店)／TSUTAYA光星店／禪心会病院／(株)日産サティオ札幌(北支店・東苗穂営業所)／アカシア勤労青少年ホーム／丘珠郵便局／札幌中央郵便局／栄地区センター／東区民センター／東区社会福祉協議会／東区役所／元町図書館 ●西区／美芸学園福祉専門学校／コープさっぽろ(琴似24軒店・西野店・西野南店・広島通店)／宮の沢店)／札幌東急ストア(福井店・平和店)／札幌フードセンター琴似店／西友(西町店・宮の沢店)／スーパーJOY(東八軒店・発寒中央店・西町店)／フレッティ(琴似店・山の手店)／北雄ラッキー(西野店・西野2号店・山の手店)／マックスバリュ八軒店／ラルズ発寒店／くすみ書房／ダイヤ書房発寒店／(株)文教堂(琴似店・西野店)／ごまそば鶴喜琴似店／サッポロ珈琲館八軒店／佐藤水産／たじま屋／札幌信用金庫(琴似支店・

今月協賛してくださった方々(ナニ順)

中道リース株式会社様	エックス様
株式会社ニトリ様	株式会社NTTドコモ北海道様
株式会社はしもと ごまそば鶴喜様	株式会社学生援護会北海道様
幡本印刷株式会社様	札幌JC50周年チャリティー様
ほくでんぼるねっと様	札幌通運労働組合様
(北海道電力内ボランティアサークル)	札幌南ロータリークラブ様
北雄ラッキー株式会社様	佐藤水産株式会社様
株式会社北海道アルバイト情報社様	城宝和茂様
北海道紙商事株式会社様	進藤芳彦様
北海道技術士センター様	高垣正計様
北海道新聞社様	株式会社TAQANO様
北海道ビジネスオートメーション株式会社様	株式会社土屋ホーム様
北海道旅客鉄道株式会社様	楨心会病院様
本田技研工業株式会社北海道営業部様	寺岡ファシリティーズ株式会社様
株式会社リクルート北海道じゅらん様	※北海道新聞社会福祉振興基金の 助成を受けています。
ろうきん様	
渡邊克彦様	
アイティコミュニケーションズ様	

協賛金について

一口 500円より協賛金を受け付けています。

※月刊ボラナビの発行は、企業や個人の皆様からの協賛金でまかなっています。10,000円以上の協賛金をくださった場合は、お名前を誌面でご紹介しています。継続的な協賛にぜひ、ご協力ください。
(政治団体・宗教団体などはお断りさせていただく場合があります。ご了承ください。)

情報・広告掲載料金(各1号につき)

広告掲載料金は、ボラナビ俱楽部への協賛の意味合いが強く、若干高めに設定させていただいている。ご負担をおかけしますがご協力をお願いします。

種類	大きさ(天地×左右)	価格
企業広告A	45mm×180mm	60,000円
企業広告B	45mm× 87mm	30,000円
NPO・NGO 求人・活動広告A	45mm×180mm	10,000円
NPO・NGO 求人・活動広告B	45mm× 87mm	5,000円
ボランティア募集・イベント情報	大きさにかかわらず	無料

※企業広告はご自身で制作された場合の価格です。ボラナビ俱楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。

※誌面構成上、広告スペースは白地とし、スペース全体にベタ引き・アミ引きの使用はご遠慮ください。

広告掲載料金・協賛金の振込先

- 郵便局／02700-1-5671
- 北洋銀行札幌駅北口支店／(普)0118625
- 北海道銀行札幌駅北口支店／(普)0816050
- 北海道労働金庫道庁支店／(普)3153060

※以上、加入者名はいずれも「ボラナビ俱楽部」。振込の際は、ご連絡先をボラナビにお伝えください。

■コンビニエンスストア
ねっとぽ金のサイトから申し込みいただくと、専用のコンビニ振込用紙をお送りします。
ご利用ください。 <http://www.npohokkaido.jp/volunavi>

■ホームページアドレス
<http://www.npohokkaido.jp/volunavi>
■メールアドレス
volunavi@npohokkaido.jp

■発行／NPO法人 ボラナビ俱楽部
〒060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目2
TEL 011-242-2042 FAX 011-242-2043

■発行日／2002年10月25日
■発行部数／28,000部
■代表／森田麻美子
■印刷／輪本印刷



この印刷物は環境にやさしい
[大豆インキ]を使用しております。